

AWARDS FUKUOKA 2017 エントリーシート

事業名称	北九州ドリームサミット2016
申請LOM名	一般社団法人 北九州青年会議所
事業年度LOM会員数	211名
事業年度理事長	桑島 清太郎
2017年度理事長	棟久 裕文
事務局住所	802-0082 北九州市小倉北区古船場町1-35 北九州市立商工貿易会館6F（モノレール旦過駅前）
事務局TEL/FAX	TEL：093-531-7910 FAX：093-551-0212
担当者	氏名：永瀬 登（ながせ のぼる） 電話番号：090-1871-3034 E-Mail：noboru@nagase-e.jp

事業参加者 (実施合計 名)	J C 会員数	実施 183名 [スタジアム新築工事見 学・本城イエロープロジェ クト準備] 7名 [ライトダウンプロジェク ト] 5名 [障害者との共同作業] 6名 [世界遺産ウォークラリー] 10名 [熊本復興支援] 5名 [本城イエロープロジェク ト] 100名	計画 289名 [スタジアム新築工事見 学・本城イエロープロジェ クト準備] 17名 [ライトダウンプロジェクト] 15名 [障害者との共同作業] 15名 [世界遺産ウォークラリー] 16名 [熊本復興支援] 15名 [本城イエロープロジェク ト] 211名
	協力団体・企業 などの関係者数	実施 120名 [スタジアム新築工事見 学・本城イエロープロジェ クト準備] 5名 [ライトダウンプロジェクト] 5名 [障害者との共同作業]	計画 120名 [スタジアム新築工事見 学・本城イエロープロジェ クト準備] 5名 [ライトダウンプロジェクト] 5名 [障害者との共同作業]

		10名 [世界遺産ウォークラリー] 5名 [熊本復興支援] 15名 [本城イエロープロジェクト] 80名	10名 [世界遺産ウォークラリー] 5名 [熊本復興支援] 15名 [本城イエロープロジェクト] 80名
	一般参加者数	実施 5,767名 [スタジアム新築工事見学・本城イエロープロジェクト準備] 0名 [ライトダウンプロジェクト] 0名 [障害者との共同作業] 0名 [世界遺産ウォークラリー] 78名 [熊本復興支援] 0名 [本城イエロープロジェクト] 5,689名	計画 10,100名 [スタジアム新築工事見学・本城イエロープロジェクト準備] 0名 [ライトダウンプロジェクト] 0名 [障害者との共同作業] 0名 [世界遺産ウォークラリー] 100名 [熊本復興支援] 0名 [本城イエロープロジェクト] 10,000名
事業実施に至る背景	北九州ドリームサミット（以下KDS）は、北九州の未来を担う青少年の育成事業として、中学生たちとまちの未来について真剣に考え活動し、これまでたくさんの未来のリーダーを輩出してきました。これからこのまちを明るい豊かなまちにする為には、次世代を担う中学生達が信頼できる仲間たちと共に多くを知り学び、未来を考え自ら行動する事でこのまちの未来をより豊かなまちへと進化させ、そして様々な成功体験を通して次世代を牽引するリーダーへと成長しなければなりません。そして私たち大人が道標となり成長への環境を創る必要があります。		
事業目的 対外	1) 参加した中学生達に、わがまちを想い、未来を考え自ら行動する誇りをもったリーダーとなってもらいます。 2) 成功体験により新たな夢や目標を創造できる機会を作ります。 3) 多くの仲間と一年間共に活動することにより、新たな価値観や人との繋がりの大切さを知る機会とします。		
事業目的 対内	1) 明るい豊かな社会の実現には青少年の育成が必要だと発信し、市民の方々にKDSの重要性を理解してもらいます。		
事業内容	【準備段階】 予定者段階（前年度の10月）に「年間計画」を計画し、12		

400文字程度	<p>月より共催（北九州市）、後援（北九州PTA協議会、北九州市教育委員会）を許可申請を受理して頂きます。2016年度は、「G7エネルギー大臣会合」が北九州の地で開催され、開催記念事業であるユースエネルギーサミットへの参加協力もありましたので「G7エネルギー大臣会合」より共催を頂きました。</p> <p>【中学生議員の募集】2月初旬、準備が完了した後、当事業に参加する中学生を市内72中学校から募ります。大凡3月中旬までには、募集は完了します。（2016年度は、市内42校91名の参加）※中学生議員＝北九州ドリームサミット議員（KDS議員）</p> <p>【キックオフミーティング】3月下旬に、初の全体会議を実施しました。この会議よりKDS議員たちの活動のスタートとなり、2週間に1度の割合で運営会議を行い事業活動の内容を話あいました。</p> <p>【事業活動】運営会議を経て、7月末より本格的な活動が始まりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・G7エネルギー大臣会合ユースエネルギーサミット活動報告（4月中旬） ・北九州スタジアム訪問（7月末） ・障がい者支援施設訪問（7月末） ・わっしょい百万夏まつり「熊本・大分震災支援ブース、北九州スタジアム市民意識調査アンケート、花火ライトダウン」（8月初旬） ・熊本・大分被災地支援活動（8月末） ・世界遺産PR活動（9月中旬） ・スポーツで街の活性化※本城イエロープロジェクト（11月初旬） <p>【未来のリーダーサミット】10月中旬には、北九州市議会棟にて「未来のリーダーサミット」の開催</p> <p>【事業報告書作成並びに卒業式】12月初旬には、KDS卒業式（年間の活動の終了日）、12月中旬よりKDS事業報告書を関係各団体、市内中学校への配布</p>	
事業の概要 (○を付けてください)	開催の形式	主催・共催・主管・副主管
	事業対象者	又ンパ ・市民・小学生・ その他学生 ・ その他
	事業区分	新規事業・ 継続事業
	公益・共益区分	公益・共益
事業予算・決算	予算額	¥1,150,000
	決算額	¥686,646
開催日時	2016年1月1日 : ~12月31日 :	
開催場所	北九州市市内各所	
協力団体	共催	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市 ・G7北九州エネルギー大臣会合推進室（2016年）

	協賛	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市市内企業各社
	後援	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市教育委員会 ・北九州PTA協議会
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州中学校校長会 ・ギラヴァンツ北九州 ・本城イエロープロジェクト実行委員会 ・北九州スタジアム工事関係者 ・北九州市建築都市局建築部建築課スタジアム整備係 ・社会福祉法人 高須会 こもれび学園 ・わっしょい百万夏まつり振興会 ・北九州市立いのちのたび博物館 ・北九州市環境ミュージアム ・北九州市企画調整局政策部世界遺産課 ・まつり起業祭八幡
事業実施へ工夫した点とその効果400文字程度	<p>事業活動において市民参加型の活動に関しては、計画時には何人ほどの参加が見込めるのか予想が付きませんでした。準備段階から関係各企業、団体とPR活動を各所で行い「世界遺産PR活動」に於いて80名近い参加を頂き、「スポーツで街の活性化※本城イエロープロジェクト」に於いては5600名に近い参加を頂くことができました。活動内容に関しては、KDSグループを細かく分けたことで参加する中学生たち自らが、行動しないとけないという責任感と、活動を終えるころには一生懸命に頑張ってきたことによる達成感が生まれました。また、仲間たちと切磋琢磨することで強力なチームワークを築くことができお互いに刺激し合い成長することができました。</p>	
地域社会への影響 400文字程度	<p>KDS議員たちが自分たちの住むまちに郷土愛を持ち、明るい豊かなまちを創造する為に未来を見据え議論し活動してきたことで、未来を牽引する次世代のリーダーへと成長することができました。更には、様々な活動に於いて経験した成功体験は、今後の人生において新たな夢や目標にチャレンジすることの大切さを学ぶことができました。また、北九州市議会棟で開催された「未来のリーダーサミット」では、自分たちで活動することで理解することのできた、街の改善点、問題点、これからの北九州市がおこなうべき事項を市政へ提言をおこないました。その結果、市議会を動かし、北九州市の法律である条例を変えるにまで昇華し、KDS議員たちの意見</p>	

	で街を変えることができ、市民の意識変革へとつなげることができました。
LOMへの影響 400文字程度	KDS議員が自分たちの住む街について自ら考え行動する姿にLOMメンバーにも当事者意識が芽生えました。また、KDS議員と共に議論し計画し活動することでLOMメンバーの成長へとつなげることができました。 「世界遺産PR活動」「スポーツで街の活性化※本城イエロープロジェクト」のような市民参加型の活動に於いては、LOMメンバーが一丸となり周知活動を行うことでLOM内に一体感が生まれ、KDS議員のひたむきに努力する姿に改めて支援することの大切さを理解することができました。
事業PRポイント ご自由に記載して下さい	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州市市議会棟にて開催された「未来のリーダーサミット」では、KDS議員たちが考えたことを市政へ提言をおこないました。 ・市政への提言は、市議会を動かし、市の法律である条例を変える運動に昇華し、中学生たちの意見で街を変えることができました。

事業風景写真も4～5枚程度あわせてお送り下さい。

エントリーアドレス：fukuoka.awards@gmail.com